

展示のねらい

展示セットは、宇宙船地球号にある水をテーマに、参加者がキャラクターと一緒に、世界遺産を探検して、地球環境の不思議、過去の技術や人間の営みを解き明かしながら、未来に向けて何をしなければならないかを考えさせるように構成されています。

展示セットの概要

パネル、展示装置(実験装置)、映像、ワークシートがセットになっており、見るだけでなく、“触れて”“試して”楽しみながら、過去におけるさまざまな人間の知恵や、不思議な自然現象について、多面的な理解ができるようになっています。

展示の全体構成図



※世界遺産とは、1972年にユネスコ総会で採択された『世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約』に基づき指定された、文化遺産と自然遺産を指します。この条約には現在140カ国が加盟しており、世界中で指定されている遺産は440カ所。国際的な監視体制を敷いて指定地の保全に努めるとともに、世界遺産基金により、傷ついた遺産の修復が行われています。



山形県立博物館

〒990 山形県山形市霞城町1-8

TEL 0236-45-1111

国立科学博物館／教育部企画課

〒110 東京都台東区上野公園7-20

TEL 03-5814-9876

かほくトラベルミュージアム

たんけん！水がつくった 世界遺産



平成9年6月21日(土)～7月13日(日)

会場：山形県立博物館

主催：山形県立博物館・国立科学博物館

プロローグ



わたしたちが毎日飲んでいる水！すべての生命に必要な水！おいしい水は地球上のどこにあって、どうやったらできるのでしょうか？僕たちの住んでいる地球には美しい自然がたくさんありますが、それは水のどんなはたらきでつくられ、これからどうなってしまうのでしょうか…。

砂漠を流れる世界最長の川ナイル、そして、世界で一番落差の激しい滝アンヘルの滝…、5つの地域の世界遺産をけん太君とグローブさんと一緒にたんけんします。

ナイルをさかのぼる

～水と生活の知恵～

世界で一番長い川、ナイル。河口のへんなところに灯台がある。いったい何があったのだろう。その謎を解き明かす冒険にでて、水と生活の知恵と秘密を解き明かそう。

・「ピラミッドの秘密」「ナイルの源流は雪解け水」「水を冷たくするにはどうするの？」など



残された秘境

～水の不思議な現象～

落差が1000メートルもある世界一の滝、それは残された秘境、南アメリカペネズエラのギアナ高地にある。

テーブルのかたちをした台地がつくる異様な光景…、紅茶色の川…、そこには、水がつくりだした不思議な現象の謎がかくされている。

・「霧になった滝の神秘」「エッ！水がのぼっていくよ」など



ヨーロッパ運河の旅

～水と科学技術～

わたしたちの便利な生活、その起源はヨーロッパにある。アルハンブラ宮殿、セーナ河畔、そしてグリム童話の世界へ…。ヨーロッパにはりめぐらされた運河網を利用して、水と科学技術の謎を解き明かそう。

・「パリの下水道」「シトー派修道院に隠された謎」など



黄色い水の謎を探る

～水との共生～

青い海と黄色い水がコントラストを描きながらまじわる黄河、月からも見える万里の長城、それも水とかがわっている？中国4000年の科学技術に水と共生するヒントがかくされている。

・「お茶をおいしく飲む」「万里の長城に隠された謎」など



モンスーンの水の旅

～宇宙船地球号で生きる～

モンスーンがもたらす雨、自然をたくみにいかしたフィリピンの棚田、おいしい水の冒険も終点に…。四季の変化、それをいかした生活文化、宇宙船地球号に生きるわたしたちがしなければならぬことは…？

・「おいしい水の秘密」「ブナの森にある水の秘密」「合掌づくりの屋根はどうしてもれないだろうか？」など

